

# 【計画】5-6 気候変動による高山植生及び希少植物への影響調査

【分野: 自然生態系、対象地域: 中国四国地域全域】

## ■ 目的

- 気候の温暖化は、中国山地や四国山地など高地に分布する自然林などの植生や、そこを生育環境とする希少植物の消失を引き起こし、地域の生物多様性を低下させることが懸念される。
- そこで、中国四国地域における自然林等の分布変化を予測するとともに、その変化から自然林等を生育環境とする植物への影響を予測し、適応策を検討した。

## ■ 調査計画

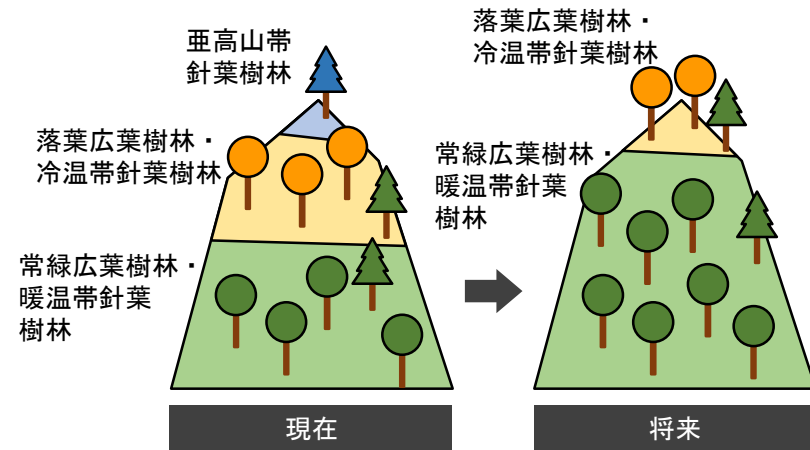
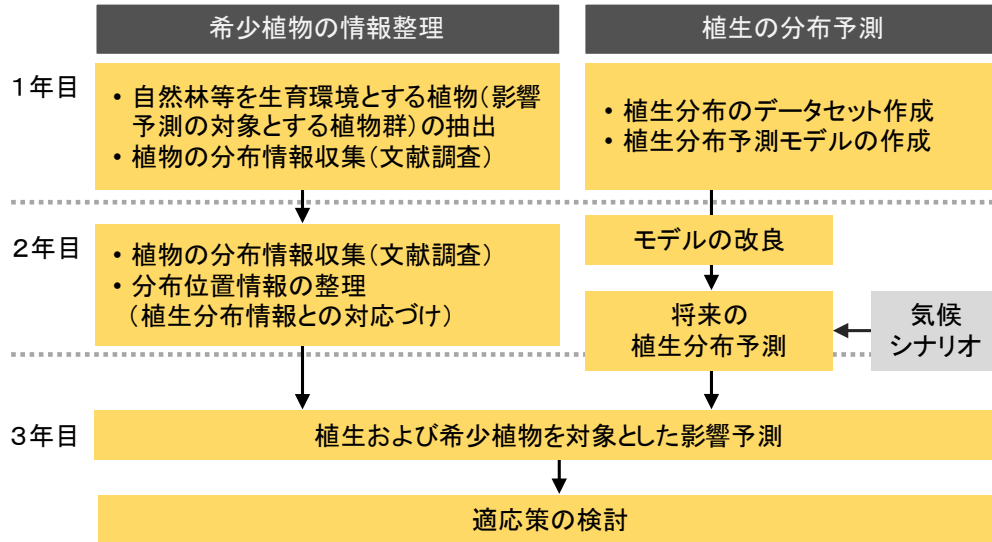


図 気候変動に伴う植生の分布適地変化のイメージ

影響予測の対象とする植物種の例



中国山地や四国山地の高標高地に生育するサラサドウダン



ブナの大径木に着生するヤシャビシャク

## ■ 実施体制

(株)地域計画建築研究所  
(アルパック)

- 資料収集・ヒアリング
- 植物分布情報の整理
- 希少植物への影響予測
- 適応策の検討

高知大学教育研究部  
比嘉 基紀 講師

• GISによる植生分布の  
予測解析・適応策の検討

各県及び各県の自然史系博物館および  
研究機関(島根県立三瓶自然館など)

- 植物の分布に関する情報提供
- 対象植物群選定のアドバイス